

柳平彬

## 八ヶ岳天然温泉湧出のお知らせ



拝啓 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年2月20日より郷里の八ヶ岳山麓、縄文の里・蓼科の健康道場（蓼科エグゼクティブハウス）の隣で深度1,150メートルまで掘削を続けておりました温泉が、7月5日（木）午前10時30分に湧き出しました。

温泉の量は、毎分226ℓの大湧出量になり、十分な掛け流しのお風呂を作ることが可能になりました。専門家の電気検層（Electric Conductivity Exploring Test）では、湧出の兆候がないと言われていただけに、嬉しく思っております。

「温泉は出ない、出すのだ！」という主張が天と地に、また地元の縄文人の祖先たちに遂に通じたのではないかと考えております。40年以上前、米国フィラデルフィア留学中、「禅とは何か」の議論で、鈴木大拙から「禅とは山奥で座禅をしていればよいということではなく、ぬかる道を道路に変えていくようなエネルギーだ！」というようにことを啓発された記憶がかすかにありました。この考え方は自然の摂理に反するように思われるかも知れませんが、その心を思い切って活かし実践したことをご理解いただければ幸いです。

早速、露天風呂作りの名人、黒川温泉の後藤哲也さんに伝えたと、「こんなに出るとは思わなかった。これなら長野県一、いや日本一の露天風呂が出来る！」と言っています。これは、大きさのことではなく、「和の原点、縄文の心を形に…」するという意味です。



すでに、入浴者第一号としてミツバチの群が来訪しており、飲泉と入浴を楽しんでおります。そして45度の角度で勢いよくげん気に飛び立っております。この現象は日本でも初めてのことはないかと掘削の専門家が言っています。生命力を蘇らせようとする生物の本能に驚いています。冗談に、ミツバチ専用の露天風呂も作ってみようかとも思っております。

今後、生物学者にこの源泉のハチの健康への影響を調べてもらう必要があるかも知れません。もし、その効果が判れば、ここで研修を受けられる人々にとってのメリットも更に期待できるのではないかと思います。

この温泉湧出を機会に、企業の経営者、幹部のA I A心構え変革や企業家精神啓発研修、チームワーク、リスクマネジメントや突然死予防のための人生パワーアッププログラムなどの宿泊研修を蓼科の施設で充実させて行きたいと思っております。

また、食べ過ぎ日本人の健康自己管理のために、伊豆の石原結實医師から4年前に学びました「にんじんジュース断食」もこれを機会に定期的に行いたいと思っております。

最近、「日本人はいつからスパゲティボーン（ふにゃふにゃの背骨）になったのか」と外国人から言われる中、われわれもそうならないよう、これからも人づくり、特に志のある人財育成と価値の伝承に挑戦し続けてまいりたいと思っております。

敬具

### [温泉の特徴]

湧出量：226ℓ/分，温度：53.2度，色：湧出直後は無色澄明、その後微黄白濁の可能性あり。

泉質：ナトリウム硫酸塩化物炭酸水素塩泉（仮称）（中性・低張性・高温泉）